

(講座) 天然薬物学

(研究室) 薬用植物学

(氏名) 山田耕史

(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 薬用植物の育種研究
2. 海洋無脊椎動物の生理活性成分に関する創薬化学的研究
3. 海洋微生物由来の生理活性成分に関する創薬化学的研究
4. 植物バイオマスの有効利用を目的とした化学的研究
5. 機能性食品の化学成分に関する化学的研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. K. Yonezawa, K. Yamada, I. Kouno: New Diketopiperazine Derivatives Isolated from Sea Urchin-Derived *Bacillus* sp.: *Chem. Pharm. Bull.*, 59(1): 106-108 (2011) (IF: 1.507)
2. T. Chijimatsu¹, M. Umeki, Y. Okuda, K. Yamada, H. Oda, S. Mochizuki: The fat and protein fractions of freshwater clam (*Corbicula fluminea*) extract reduce serum cholesterol and enhance bile acid biosynthesis and sterol excretion in hypercholesterolaemic rats fed a high-cholesterol diet: *British Journal of Nutrition*, 105(4): 526-534 (2011) (IF: 3.072)
3. M. Terato, A. Ishikawa, K. Yamada, Y. Ozeki, Y. Kitamura: Increased furanocoumarine production by *Glehnia littoralis* roots induced via *Agrobacterium rhizogenes* infection: *Plant Biotechnology*: 28(3), 317-321 (2011) (IF: 0.853)

【学会発表】

B 国内学会

(B-a) 招待講演

1. 山田耕史: 海洋細菌由来の生物活性成分、2011年日本化学会西日本大会、p202、徳島 (2011).

(B-b) 一般講演

1. 麻野美帆、米良雄一、松尾洋介、田中隆、山田耕史、河野功: チャオニテングダケの化学成分、日本薬学会第131年会、要旨集2、p229、静岡 (2011).
2. 千々松武司、梅木美樹、片岡裕太郎、小林 悟、山田耕史、小田裕昭、望月 聡: 脂肪性肝炎に対するシジミ抽出物中脂質及びタンパク質の影響、日本農芸化学会2011年度大会、p211、京都 (2011).

3. 小林 悟, トマローラン, 片岡裕太郎, 梅木美樹, 千々松武司, 山田耕史, 望月 聡, 小田裕昭: タイワンシジミ抽出物による脂質代謝改善機構と機能性成分に関するトランスクリプトミクス解析 第 65 回日本栄養・食糧学会大会、p255、東京 (2011).
4. 麻野美帆、田中隆、松尾洋介、山田耕史、河野功: チャオニテングダケ培地のジテルペノイド成分、日本生薬学会第 5 8 回年会、p183、東京(2011).

【学会役員等】

1. 天然物化学談話会世話人
2. 日本化学会九州支部幹事
3. 日本化学会九州支部代議員
4. 日本化学会九州支部化学教育協議会幹事
5. 長崎県・理科化学教育懇談会幹事

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	40 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	2 編	(邦文)	2 編
著書 (欧文)	1 編	(邦文)	0 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	1 編
特許	0 件		